

鳥取市埋蔵文化財センター

青谷町に善田傍示ヶ崎遺跡の発掘調査で、古代山陰道とみられる道路状遺構が見つかりました。道路は、当時最先端の技術「敷葉・敷土」を用いられ、枝木を規則的に敷きつめ軟弱な地盤を補強した様子が確認されました。



鳥取市歴史博物館「やまびこ館」

やまびこ館では4月に常設展示室の全面リニューアルを行いました。特に、まなびのひろばでは土器・マズルや双六などの子どもでも遊んで学べるキットや鳥取の歴史を調べるために役立つ図書コーナーなどを新たに設置し、幼稚園児や小学校には好評で多くの方にご来館頂きました。



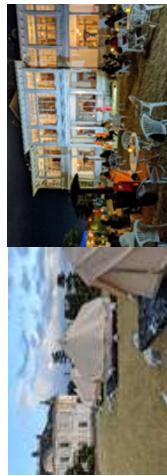
鳥取市因幡万葉歴史館

コロナ禍の中4月から12月まで多くの中小学生成皆さんに来館していただきました。夏休みの「子ども草木染」で、真っ白なハンカチを藍で染めあげてうれしそうに広げて見せてくれたのが印象的でした。体験するつて素晴らしいと思った瞬間でした。



仁風閣・宝扇庵

10~11月に仁風閣の庭園で、はじめて「仁風閣グランピング」を行いました。「グランピング」というのは、高級なテントを張ってその中で快適にすごすことです。仁風閣は国の重要文化財なので、国の許可を取るのが難しいのですが、今回は国の実験として行いました。仁風閣で夜を過ごすというのは特別な体験です。大きな星空の下で、ライトアップした幻想的な仁風閣の中で麒麟絹獅子が舞ったり、美味しいお食事をしたり、ドリンクを飲んだりしていただきました。将来は仁風閣いろいろな新しいことができたらいいなと思っています。



仁風閣

毎年大好評の夏休み中に開催する「和紙あかりづくり体験」。今年はコロナ禍の中、前日まで開催できるかとても心配していましたが、感染対策をしっかりとしながら講師の先生と参加者の皆さまが楽しい時間を過ごしていただきました。



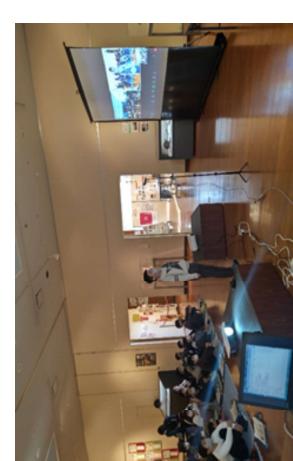
城下町どつとり交流館 高砂屋

10月初旬、一年間研究開発に取り組んできた「因州料紙」の試験販売を開始しました。地域生産者10件の協力を得て、14種の「因州料紙」のラインナップが準備いました。



鳥取市あおや郷土館

展覧会「和紙でつながる鳥取市・郡山市～児童作品展～」を開催し、関連事業として、あおや郷土館と鳥取市立佐台小学校、郡山市立宮城小学校の3校所をオンラインでつなぎ、青谷小学校・佐治小学校・宮城小学校の児童たちが、それぞれの和紙作品を紹介したり、鳥取市と郡山市のつながりの歴史を学習したりしました。



鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

祝！開館20周年！
コロナ禍のためイベントは中止となりましたが、記念品配布やロビー展示で皆様に楽しんで頂きました。

2021年2月にテーマを「青谷上寺地の衣・食・住」として常設展示の入れ替を行ったところ、「大変わかりやすい」と好評です！

